

時間割コード	G2B45912	開講年度	2026				
授業題目	信州で考える憲法問題研究ゼミ					担当教員	小池 洋平
英文授業名	Seminar on the Constitutional Problems in Shinshu						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学生	全
講義室	共通教育 5 5 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力					⇔	憲法問題について、文献などを収集・理解し、それらを自ら評価し、その成果を発信することができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	このゼミでは憲法に関連する問題を受講生と一緒に検討する。 年度によりテーマを変えているが、2026年度は「表現の自由」をテーマとする。 近年、SNSでは過激な表現が飛び交い、場合によっては、名誉毀損罪や侮辱罪に問われる事態が生じている。また、生成AIを活用することで、人々の表現の可能性が広がると同時に、悪用も問題となっている。 こうした時代状況を考えると、《人間はなぜ表現をするのか》《人間の表現行為にはどのような意義があるのか》を改めて検討する必要がある。 そこで、2026年度は、芸術作品や映画などを素材として、これら2点を検討したい。 受講生の人数によって進め方は変わってくるが、前半は、2人の表現者「チャーリー・チャップリン」と「草間彌生」を検討素材とする。後半で取り上げる表現者については、ゼミ生と相談したい。 ※ 2026年度は「対面回」と「オンライン回」が混在します。特に「（4）授業計画」と「（8）履修上の注意」欄をご確認ください。						
(5)授業のキーワード	表現の自由、人権、グループワーク、フィールドワーク						
(6)授業計画	第1回 ゼミ・ガイダンス【対面】 第2回 ゼミでの学び方／表現の自由の基礎理論【オンライン】 第3回 映画と憲法（1）チャーリー・チャップリンの『独裁者』【対面】 第4回 映画と憲法（2）ディスカッション『独裁者』【対面】 第5回 映画と憲法（3）『独裁者』の背景【オンライン】 第6回 芸術と憲法（1）草間彌生『∞INFINITY』【対面】 第7回 芸術と憲法（2）松本市と草間彌生【オンライン】 第8回 芸術と憲法（3）ディスカッション 草間彌生 第9回 レポートの作成に向けて①【オンライン】 第10回 ゼミ生報告（1）【対面】 第11回 レポートの作成に向けて②【オンライン】 第12回 ゼミ生報告（2）【対面】 第13回 レポートの作成に向けて③【オンライン】 第14回 ゼミ生報告（3）【対面】 第15回 ゼミ生報告（4）／授業アンケート【対面】 ※ 受講生と相談のうえ、授業計画の一部を変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。						
(7)成績評価の方法	平常点（45点満点）と期末レポート（55点満点）を合計して評価する。						
(8)成績評価の基準	平常点と最終レポートの合計点につき、下記の基準で評価する。 ■ 平常点 - ゼミの活動への取り組み態度を基準として評価を行う。 ■ 期末レポート - 次の課題①と②のうち、どちらかを1つ選びなさい。 【課題①】信州にある美術館を1箇所訪れ、そこに展示されている作品を素材として《人間はなぜ表現をするのか》《人間の表現行為にはどのような意義があるのか》論じなさい（2500字程度）。 【課題②】1つの映画作品を素材として《人間はなぜ表現をするのか》《人間の表現行為にはどのような意義があるのか》論じなさい（2500字程度）。 上記の合計点が 60点から69点で「授業の達成目標から見て合格水準にある」（可） 70点から79点で「授業の達成目標から見て合格水準のやや上にある」（良） 80点から89点で「授業の達成目標から見て合格水準のかなり上にある」（優） 90点から100点で「授業の達成目標から見て卓越している」（秀）とする。						

(9)事前事後学習の内容	このゼミでは以下の2つを事前事後学習とします。 ① ゼミ生報告の準備をするため文献調査等を行うこと。 ② 文献資料の収集や調査を行い、最終レポートを執筆すること。 ※ この演習は2単位のため、合計60時間以上の時間外学習が必要となります。
(10)履修上の注意	■ 2026年度の注意事項 ・この講義は【対面回】と【オンライン回】が混在します。どの回が対面／オンラインかは、上の授業計画をご確認ください。 ・【対面回】については、シラバスに掲示された講義室にて、通常のゼミを行います。 ・【オンライン回】については、eALPSに動画を掲載するので、そちらを視聴してください。 ・ハイフレックス型（対面での講義をオンラインで配信し、学生が受講方法を自由に選べる）ではないので、ご注意ください。 ・受講生と相談のうえ、一部のオンライン回を、週末に実施するフィールドワークに置き換える可能性があります。
(11)質問,相談への対応	・授業の前後にお声がけいただくか、メールをお送りください。メールアドレスはeALPSに掲載します。
(12)授業への出席	この授業はすべての回に出席することを基本とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなってください。
【教科書】	
【参考書】	大野裕之,チャップリン 作品とその生涯,978-4122064010,中央公論新社,2017年。 大野裕之,チャップリンが見たファシズム,978-4121101532,中央公論新社,2024年。 チャールズ・チャップリン,チャップリン自伝：若き日々,978-4102185032,新潮社,2017年。 チャーリー・チャップリン,チャップリン自伝：栄光と波瀾の日々,978-4102185049,新潮社,2027年。 草間彌生,無限の網,978-4101365411,新潮社,2012年。 ドリアン・チョン,草間彌生 1945年から現在,978-4868310068,青幻舎,2026年。 中嶋泉,アンチ・アクション,増補改訂版,978-4-480-51319-9,筑摩書房, 2025年。